

# 学生との座談会

令和3年10月5日、高崎経済大学(高崎市)において、学生と本会役員との座談会を開催した。「税理士についてどのようなイメージを持たれているのか?」や「今後の将来を考えたときに税理士ってどうなのだろうか?」ということに関して、大学生の話を聞きたく、このような機会を設けた。

本座談会には、高崎経済大学から学生会で「cafe あすなろ」を運営する学生5人(それぞれのプロフィールは左欄のとおり)、本会からは、江本会長、小林警副会長、遠井洋子専務理事、西村広報部長、松波竜太広報副部長、吉田俊弘広報副部長が参加した。なお、参加学生には、税理士を知っているか、どのようなイメージか、目指しているか等事前にアンケートを実施している(内容は紙面の都合上、一部抜粋)。

## 「税理士」のイメージについて

西村部長: 事前のアンケート

では、「パソコンに向かって日々仕事をしている」「細かい数字の書かれた書類と睨めっこしていそう」ということ  
吉田副部長: 普段はやっぱり肩間に皺を寄せながら(笑)

## 学生プロフィール

- 徳田康生さん**……経済学部2年生。学生会の代表をしている。学生会では「cafe あすなろ」の運営、商品開発、イベントなどを60人前後の学生ですべて行っている。
- 小林愛佳さん**……経済学部2年生。「cafe あすなろ」では企画班に所属しつつ会計ソフトの入力も担当。
- 清水大雅さん**……地域政策学部2年生。「cafe あすなろ」では副代表としてお金の管理などを行っている。「cafe あすなろ」で働く学生に出る給料の計算などの管理もしている。
- 佐々木花保さん**……経済学部3年生。学生会では以前副代表をしていた。副代表になると同時に会計担当にもなる。
- 中島和政さん**……経済学部3年生。以前「cafe あすなろ」で会計の担当をしていた。毎月会計ソフトを使って入力し、月に1回税理士に来てもらい監査をしてもらっていた。イベントの企画なども行っている。

### 「cafe あすなろ」って?

今から30年以上前に存在した伝説の喫茶店「あすなろ」を2013年6月に高崎経済大学の学生の手によってよみがえらせた「cafe あすなろ」。市や大学からの支援を受けながら、学生たちが運営をし、NPO活動を通じて地域社会活性化を学んでいます。



中島和政さん

仕事をしているのですが、お客さんのところに行けば愚痴話を聞いたり、悩み事の相談に応じたりと事務仕事以外の部分が結構あります。

私は初め証券会社に勤めていました。税理士になろうと思ったきっかけが税理士さんのひとと言でした。ある時、証券アナリストになろうと思っ

て試験を受けたら、上司に「営業マンに頭はいらぬ」と言われ思い悩んでいました。そのことを当時のお客さんだった税理士に話したところ、「だったら税理士になっちゃいなよ!」と某芸能事務所の社長のように言われ、決心してこちらの業界に入ってきました。税理士はいろいろなデータや情報から根拠のあるアドバイスをできる仕事だと思います。相手にとって大きな影響を与えてしまうことあるので言葉には責任がありますね。

西村部長: 学生さんからは「AIの時代が到来することによって税理士業務がなくなるのではないかと」と疑問を持たれているようです。この点について、江本会長から税理士の将来についてお話しいただけますか。  
江本会長: オックスフォード大学のオズボーン博士が、いろいろな職業がAIやロボットに代わられてしまうという論文を書かれました。

たしかにAIは計算能力や記憶は人間よりも数段優れているので、過去の実績を捉えた中でそのような部分は任せ方が良いと思います。しかし一方で、例えば事業展開を他に広げたいときに、AIでは新事業を見つけれたり、それを判断したりということ

は、難しいですね? やはり納税者は、いろいろそういうことを税理士に相談する。相談業務や、経営者と一緒に考えて考える経営コンサルの仕事というのはなくなることはないと思います。

西村部長: 松波副部長からも税理士の業務は計算以外にも多岐にわたるといって話を聞いたばかりです。松波副部長: 私も大学卒業後初めに就職したのは一般企業でした。OAの商社で営業をしていたのですが、お客さんをデータ化して、どこに行ったら売れる可能性が高いかという分析スキルが必要になります。それを続けるうちに「営業より数字の方が好きだな」と思い、何か違う分野に行ってみようかな。

先程会長がおっしゃっていたとおり、意思決定まではコンピュータにはできません。例えばcafe あすなろを運営していて、今月は赤字だったのか赤字だったのか。これは判断というより事実の話です。このまま続ければいいのか、投資に回せるお金がいくらあるのか、ということをお客さんに提供しながら一緒に考えていく。もちろん利益が出たら税金を払わなければいけないので、それが最小になるように計算します。

税理士はこのような場面でも必要とされています。利益の計算って結構難しいのです。そこに確固たる信念というか自分自身なりの生き方とか考え方を持っていて、そのままそれが仕事になっていくというようなイメージが、私の税理士像かなと思っています。とてもやりがいがある仕事だと思います。

西村部長: 今3人からお話がありました。何か質問はありますか? また初めに抱いていたイメージと今、話を聞いた後とではどうでしょう?  
中島さん: 税理士は会社の中でずっと仕事をしているイメージだったので、お客さんと一緒に寄り添って仕事をしているということが、今聞いていて伝わったので、思っていたよりも活発な仕事なのかなというイメージが変わりました。

佐々木さん: 経営のコンサルタントも税理士の仕事の一つだと知ったのですが、cafe あすなろを担当してくれている税理士さんがすごく若い方で、寄り添ってくれて、私はそれほど硬い印象を持っていません。

先生方が話してくださった、人への思いの大切さだったり、数字にとらわれないということも大事だったりするというのは、すべての職業に共通することだなと思います。次は、税理士のやりがいや魅力について、遠井専務理事からお話しください。  
遠井専務: 先程から「AIに代わられるんじゃないか」という話がありました。まさに皆さんが言っているやりがいとは違って代われないものだと思うのです。AIはあくまで過去の積み重ねなので、今後の変貌につ



清水大雅さん

就職活動中なのでよく参考になりました。

清水さん: 自分も2年生になり、お金のこともcafe あすなろの活動でやるようになりました。

例えば、デリバリーサービスの価格や、お店での提供価格を決めたりしています。これまでは、当てはめた計算をしていただけのようなところがあったので、先生方の話の中で、お店の信念とか、どれだけ利益を出したいとか、そういうことを考えた上で価格を決めたりしたら、自分にとっても身になるということがわかりました。

そういうことを教えてくださる税理士は、すばらしいなと思います。  
西村部長: 「寄り添って」と佐々木さんが言ってくれました。佐々木さんが言うように、私も思ったように、本当にそうだと思います。税理士は親切で思いやりがある人が多いと思います。お堅いイメージはだいぶ変わったかな?

次に、税理士のやりがいや魅力について、遠井専務理事からお話しください。  
遠井専務: 先程から「AIに代わられるんじゃないか」という話がありました。まさに皆さんが言っているやりがいとは違って代われないものだと思うのです。AIはあくまで過去の積み重ねなので、今後の変貌につ

いてまでは分からない。経営者の中には、「みんな幸せにお金が儲かればいい」という考えや、「社会貢献が目的だから、そんなに儲からなくていい」という考えの方もいる。その考えを理解して導いてあげる。

コンサル業務的なところというのはAIに代わられるのは最後かなという風には思っています。経営者の意見を理解して、その方向性もっていくというのは重要で本当にやりがいがあります。悩みを抱えておられることもあるので、そういう時も相談のって、ある程度いい方向にいったという時、あるいは、そんなに良くなるなかったけど、道は作れたという時は税理士として良かったなと思います。

西村部長: さて、税理士のイメージで「私生活も堅実に過ごしていそう」というのがあるのですが、それについては誰かお答えいただけますか?  
遠井専務: すみません。偉そうなことを言いましたが、自分自身はそんなにきちんとしています。(笑)。

税理士の仕事は、独立開業でバリバリやるのか、できる範囲で仕事をやるのかを悩むんです。さらに、地元に戻るのか、税理士法人に所属するのか等自分の方向性を自分で決められます。そういう意味で税理士はものすごく柔軟性があると思います。女性にとってもすごく働きやすい業種で、子育てや介護の時も、自分の置かれた状況に合わせて仕事の量を変える



座談会に参加した高崎経済大学の学生と

(22面からつづく)

ことができず、私自身も親の介護があります。税理士の仕事だけでなく、介護もしながら、ある時間帯はちょっと自分の趣味に使ったり。やりがいもあるし、自分の時間でも作れて楽しく仕事もできています。

西村部長：とても魅力的な生活ですね。清水さんは地域政策学部に所属しているとのことですが、公務員や地域で市役所・団体などに就職される方が多い学部とお見受けしました。

自治体などでの税金の使い道や予算といったことには、実は税理士も関係しています。小林副会長：税理士は地方公共団体の監査委員や外部監査

人、登録政治資金監査人、成年後見人に就任するなど、多方面で活躍しています。私も高崎市の監査委員を平成20年から4年間務めました。やっぱり数字のことになると、何人かいる監査委員の中でも税理士の私が聞かれるのです。西村部長：税理士が公平で公正で誠実であるということが世間的にも認められている訳ですね。

中島さんは会計の勉強に興味があるようですが、税理士に興味はありますか？中島さん：今、就活をしていて、どちらかというと税理士ではなく一般企業をみています。高校の間に日商簿記検定2級は取得しました。大学に入

った段階では、会計の世界に進みたいと思っていただけですが、いろんな先輩方の就職先とかの話聞いて、一般企業もいいのかなどか思っています。でも今、日商簿記検定1級を独学で勉強しています。西村部長：簿記は企業の中にも生かれますし、税理士試験も視野に入りますよ。

中島さん：そうなんですか？遠井専務：そうですね。一般的には税理士試験を受験して、5科目合格で税理士となります。会計科目は簿記論と財務諸表論。税法科目が所得税、法人税等7科目です。簿記論と財務諸表論は必修で、税法科目の中からは所得税・法人税のどちらか1科目が必修となります。

また、この試験で一番特徴的なのが、1科目でも一度合格すると、一生その合格が有効というところです。ですので、勤めながら試験を取っている方は、だいたい1年に1科目ずつ受験しているようです。ただ試験を合格しただけでは税理士にはなれません。試験合格の前でも後でも、実務経験が2年以上必要になります。

税理士になるには、税理士会に登録しなければなりません。入会の際には審査もあります。あくまで5科目合格と2年の実務は税理士になる資格があるということなのです。これが王道である試験合格になるのですが、試験の免除制度もありますし、公認会計士や弁護士資格があれば税理士の登録もできます。

このように、いろいろな方から税理士になることができませんが、1科目ずつの合格が一生有効というのは本当にユニークな制度かなと思います。小林副会長：ちょっと今の話に付け加えると、税理士は受験資格が非常に厳しい資格試験です。公認会計士は誰でも受けられますが、税理士は一定の基準を満たさなければなりません。この点について、税理士法の改正を目指していますが、会長から説明をお願いします。江本会長：今は、大学3年生以上の場合62単位、また、法学部と経済学部どちらか科目を取った方しか受験することができません。これを撤廃にするように動いております。

1科目受かるとそれは一生というのがあるので、学生時代に何科目か合格して、そのあと結婚し、子育てがある程度終わった時に、もう一度税理士の試験を受けてみようというって税理士になる女性も結構いらっしゃいます。平成18年頃から女性税理士は右肩上がりが増えていきます。今日もここに女性税理士が2人いらっしゃいますが、そういうことも頭の中に入れておいてくださるといいかなと思います。

西村部長：私も子供を産んでから登録をしました。働き方

自分が選べるので、子供が小さいうちは家庭や育児を優先しましたが、今は子供も皆さんと同じくらいの歳になりましたので、仕事の割合を増やしました。

この機会に税理士に相談したいことはありますか？西村部長：ここからは、税理士に聞いてみたいことなどがあればお答えします。徳田さん：僕は経営班の情報システム部門で、Excelなどで、cafeあすなるの売上等のデータを集め、次はこういう風に販売したいのかというのをやっています。データを集めた後の、次のステップが難しいというか、そのデータをどういう風に生かせるのかが難しいところだと思っています。

松波副部長：原価がいくらで、値段はいくらにしようというのは、企業の自由ですよ。しかし、例えば高級なお寿司屋さんに行って100円寿司のようなネタが出てきたら、びっくりして客離れを起してしまう。ですから、価格帯がターゲットとしていらっしゃるに当てはまっているか？原価率が一定の範囲に収まっているか？そして、当てる量はきちんと商品を提供できているか？というようなチェックが非常に大事だと思っています。

他にもクレジットカードにも対応しようという案も出たのですが、やはりやめようかと…まだ学生の活動の中で、そこまで手広くやるのはどうなのかなというのがあります。小林副会長：あすなるの運営はNPO法人がやっているのですか？徳田さん：そうです。高崎経済大学からNPO法人が委託を受けて、という形です。

佐々木さん：誰か詳しい人がいる訳ではなく、先輩方から引き継いだものを回していくプラスαという感じでやっています。正社員のような、ずっといてくれる人がいないので、サークル活動と一緒に、先輩方から譲り受けたものを

回すという感じですが、人が変わるのが前提なので、経営には逆に向いてない組織とも言えます。西村部長：学生というのを強みに、失敗しても恐れずにやれば良いと思います。佐々木さん：そうですね、やりたいことをやる場というか、各個人の個性が光る組織だなと思っています。西村部長：他には何かありませんか？小林さん：企画班の出店部門というところで、主に出店や、cafeあすなるのお店の中間のイベントなど企画しています。やはりどうしてもこのコロナ禍だと制約があったり、出店そのものができなかったりするので、その点について、税理士さんとして、他のクライアントさんにはどう対処しているのか教えていただけたらと思います。ではこれで座談会を終了させていただきます。



小林愛佳さん

企画力と商品開発という部分は、数字からは見えてきませんが、マーケティングの中にアプローチする場合は、企業のポリシーが現れるところであり、販売戦略が必要となります。どれぐらいの量のを、どういうロットで、どういうサイクルで仕入れたらいいのか管理ができるという観点で集計してみると面白いのではないかなと思います。西村部長：cafeあすなるをこれからどのように運営していったらいいのかを聞いてみたいという質問がありましたね。

清水さん：先ほどデリバリーサービスの話をしましたが、ここ最近、電子決済が出てきて、特にキャッシュレス決済では今後決済手数料が発生するようになるので、どうしようかと話合っています。他にもクレジットカードにも対応しようという案も出たのですが、やはりやめようかと…まだ学生の活動の中で、そこまで手広くやるのはどうなのかなというのがあります。小林副会長：あすなるの運営はNPO法人がやっているのですか？徳田さん：そうです。高崎経済大学からNPO法人が委託を受けて、という形です。

佐々木さん：誰か詳しい人がいる訳ではなく、先輩方から引き継いだものを回していくプラスαという感じでやっています。正社員のような、ずっといてくれる人がいないので、サークル活動と一緒に、先輩方から譲り受けたものを

回すという感じですが、人が変わるのが前提なので、経営には逆に向いてない組織とも言えます。西村部長：学生というのを強みに、失敗しても恐れずにやれば良いと思います。佐々木さん：そうですね、やりたいことをやる場というか、各個人の個性が光る組織だなと思っています。西村部長：他には何かありませんか？小林さん：企画班の出店部門というところで、主に出店や、cafeあすなるのお店の中間のイベントなど企画しています。やはりどうしてもこのコロナ禍だと制約があったり、出店そのものができなかったりするので、その点について、税理士さんとして、他のクライアントさんにはどう対処しているのか教えていただけたらと思います。ではこれで座談会を終了させていただきます。

西村部長：企画班の出店部門というところで、主に出店や、cafeあすなるのお店の中間のイベントなど企画しています。やはりどうしてもこのコロナ禍だと制約があったり、出店そのものができなかったりするので、その点について、税理士さんとして、他のクライアントさんにはどう対処しているのか教えていただけたらと思います。ではこれで座談会を終了させていただきます。

清水さん：先ほどデリバリーサービスの話をしましたが、ここ最近、電子決済が出てきて、特にキャッシュレス決済では今後決済手数料が発生するようになるので、どうしようかと話合っています。他にもクレジットカードにも対応しようという案も出たのですが、やはりやめようかと…まだ学生の活動の中で、そこまで手広くやるのはどうなのかなというのがあります。小林副会長：あすなるの運営はNPO法人がやっているのですか？徳田さん：そうです。高崎経済大学からNPO法人が委託を受けて、という形です。

佐々木さん：誰か詳しい人がいる訳ではなく、先輩方から引き継いだものを回していくプラスαという感じでやっています。正社員のような、ずっといてくれる人がいないので、サークル活動と一緒に、先輩方から譲り受けたものを

回すという感じですが、人が変わるのが前提なので、経営には逆に向いてない組織とも言えます。西村部長：学生というのを強みに、失敗しても恐れずにやれば良いと思います。佐々木さん：そうですね、やりたいことをやる場というか、各個人の個性が光る組織だなと思っています。西村部長：他には何かありませんか？小林さん：企画班の出店部門というところで、主に出店や、cafeあすなるのお店の中間のイベントなど企画しています。やはりどうしてもこのコロナ禍だと制約があったり、出店そのものができなかったりするので、その点について、税理士さんとして、他のクライアントさんにはどう対処しているのか教えていただけたらと思います。ではこれで座談会を終了させていただきます。

座談会を終えて学生たちの感想

- 徳田さん 顧客に歩み寄り、しっかりと話し合ったうえで経営をサポートするというのは、とてもやりがいのある仕事だと思いました。
小林さん 女性も多く活躍しており、フレキシブルな働き方ができることに驚きました。
清水さん 社会貢献や経営コンサルタントのような業務は、AIがとって代わることでできないことだということをお話を聞いて、自分の仕事に対して誇りを持っている姿がカッコいいなと思いました。
佐々木さん 税理士の方々は、セカンドキャリアであったり、子育てと両立していたり、またそれを生かした働き方をして生き生きとした印象です。
中島さん 社会に出てから目指す人も少なくないとのことなので、私自身、将来の選択肢の一つとして考えておこうと思います。

なくなくなってしまいました。飲食系のもは特に中止になりやすいです。西村部長：本当はみんな食事もしたいし、楽しいイベントも行きたいんですよ。だから今SNSやホームページなどでお店のことやコンセプトなどを知ってもらい、「行ってみたい」と興味を持っていただくといいですね。活動できるようにしたらきっと集まって来るとかと思っていますよ。自分がやって楽しいと思うことをお客さんと一緒に楽しむことが大切。そんな風に私はアドバイスします。cafeあすなるは大学生の運営ということだけでもすごく興味を引きます。失敗を恐れずにさまざまな社会経験をしてください。それでは、お時間になってしまいました。皆さん本当にさまざまなご意見をありがとうございました。

ではこれで座談会を終了させていただきます。

ではこれで座談会を終了させていただきます。

ではこれで座談会を終了させていただきます。

ではこれで座談会を終了させていただきます。

ではこれで座談会を終了させていただきます。

ではこれで座談会を終了させていただきます。

ではこれで座談会を終了させていただきます。

ではこれで座談会を終了させていただきます。